

日本一通いたくなる学校づくり
～信頼関係を築き、生徒の自己教育力を高め、夢実現に寄与する～

1 校訓及び学校経営目標、基本方針

【校訓】

誠実 「常に課題を求め、自ら正しく判断できる生徒の育成に努める」

友愛 「助け合い、励まし合い、生きる力に溢れた生徒の育成に努める」

創造 「活力に満ちた学校の実現を目指す」

【学校教育目標】

『地域連携』 地域と協働し、環境保全に取り組み、地域とともに歩む学校

『学力向上』 自己の将来（夢）を見据え、主体的に学習に取り組む生徒の育成

昨年度から新型コロナウイルス感染拡大のため、新しい生活様式を行うことを余儀なくされています。その影響は学校でも大きく、新しい学校生活様式で、新しい学習指導方法へ取り組むこととなりました。本校教職員においては、常に「子どもたちのために」を心におき、その職責を全うしようと、精一杯の教育活動を続けていきました。

人がこのような状況の社会で生きていく以上、一人では生きていけないと考えます。また、国際化、情報化、科学技術の発達、悪化する環境問題、高齢化、少子化等、子どもを取り巻く社会環境が大きく変化する時代にあって、心豊かな人生は「他者との共生」なしにはありえないと考えます。

さらに、心豊かな人生とは、人と人が支え合い、助け合い、互いに高め合って、心穏やかに生きていくことであり、そのためには、人と人、人と自然が「共に生きる」社会の実現を目指していく必要があると思います。したがって、生徒たちの感性を磨き、豊かな人間性を身につけさせ、「共によりよく生きようとする心」を育てていきたいと考えます。

そこで、学校生活の中に、まず「共生社会」を築き上げることで、「共生社会」の大切さと必要性を生徒に感じさせるとともに、地域を生かした体験活動や家庭との連携を図りながら、将来の自分の姿を見据え、「地域と共によりよく生きようとする心」を育てていきたいと思えます。

【目指す学校像】

○地域と協働し、環境保全に取り組み、地域とともに歩む学校

○地域の人々に学び、主体的に行動し、「生きる力」を身につける生徒の育成に取り組む学校

【目指す生徒像】

○地域に貢献する中で、身近な人の思いや願いに触れ、「自らの生き方」を身につけ、進んで自己を高めようとする生徒 「勇気・信頼・協働」

○自分の将来（夢）を見据えて、自主的に学習に取り組む生徒 「体力・気力・努力」

【目指す教師像】

○職員間、学校と家庭、学校と地域において強固な信頼関係を築き、情熱を持ち、協働する教職員

○研修と修養に励み、教師力の向上に努め、生徒のよさを引き出す教師

2 本年度重点事項

○地域連携・小中連携

- ・生徒会活動において、生徒主体の活動化を図り、地域貢献につながる活動の充実。
- ・地域行事やボランティアに参加する生徒の増加。
- ・保小中連携の充実（授業参観、情報交換会の実施）と英語科による小学校との連携の実施。

○学力保障

- ・教師主導の「教えた」を子ども主体の「学びたい」へ～授業をステップアップさせる3C～「授業づくりの3つのポイント」（見通しを持たせ（めあて）、お互いが学び合い（対話、アウトプット）、振り返り）を大切にした授業実践に取組と個別指導の充実を図り、授業中、勉強しやすいと思う生徒80%を目指す。
- ・ICTの効果的な活用を図ることで、生徒の興味関心を高め、楽しい、分かる授業の実践に取り組む。（校内研修、研究授業の充実）
- ・学力検査等の分析を生かし、授業改善に取り組むとともに、学習内容を理解している生徒70%以上を目指す。
- ・少人数授業（英語科）、TTの充実を図り、授業が分かりやすいと思う生徒80%以上を目指す。
- ・UDや特別支援教育の視点を取り入れ、生徒一人一人が学びやすい学習指導方法や学習環境を確立する。
- ・毎日の授業（や朝自習）と家庭学習を関連づけ、家庭との連携の充実を図り、自主的な家庭の学習習慣を身につけさせる。

○安心・安全な居場所（健康・安全）

- ・学校が楽しいと思っている生徒90%以上を目指す。
- ・危険個所の確実な把握（安全点検の充実）と営繕率50%以上を目指す。
- ・体力づくりに取り組んでいる生徒80%以上を目指す。
- ・天明中学校に通わせて良かったと回答する保護者90%以上を目指す。

○いじめ・不登校問題の改善

- ・生徒理解及び保護者と充実した連携を図り、新たな不登校生徒をつくらない。
- ・いじめの解消率100%及び継続指導の充実。
- ・相手が傷ついたり悲しんだりするようなことを言ったりしたりしていない生徒90%以上を目指す。

○働き方改革

- ・在校時間が1ヶ月45「時間を超えないよう、週に1回の定時退勤日（部活動中止日）」を設定するとともに効率的な作業を行う。
- ・教育公務員としての自覚を高め、報告、連絡、相談を大切にするとともに、協働での服務遂行を行い、不祥事防止に努める。

【めざす方向性】

①生徒のプロジェクト

「めざす生徒像」を基本に、具体的行動目標を示し取り組ませることを通して、知・徳・体のバランスのとれた成長を促す。

「めざす生徒像」

- 地域に貢献する中で、身近な人の思いや願いに触れ、「自らの生き方」を見つけ進んで自己を高めようとする生徒の育成 「勇気・信頼・協働」
- 自分の将来（夢）を見据えて、自主的に学習に取り組む生徒 「体力・気力・努力」



具体的な行動目標としては、「気持ちのよいあいさつ、返事をする」「いじめをしない、見逃さない、させない行動力」「適切なスマホ等の活用スキルとモラルを身につける」「授業に集中する」「家庭学習の励行」「朝ご飯を食べる」を大切に指導していく。

さらに、具体的な行動目標達成の姿として「自らの考えをもち、行動し、自らの夢に向かって努力する生徒」「思いやりがあり、心豊かで、仲間を大切にする生徒」「志をもち、粘り強くやり抜く生徒」を求めていく。

②教職員のプロジェクト

「めざす教職員像」を基本として、具体的な行動目標を設定し取り組むことを通して、教師力や豊かな人間性を向上させる。

「めざす教職員像」

- 職員間、学校と家庭、学校と地域において強固な信頼関係を築き、情熱を持ち、協働する教職員
- 研修と修養に励み、教師力の向上に努め、生徒のよさを引き出す教師

教師力には、人権感覚、授業力、学級経営力、生徒指導力、生徒理解力、保護者対応力、カウンセリング力などの基本的資質や専門性などが挙げられる。さらに、常に研究と修養を行う意欲が大切で、具体的な行動目標として、「教材研究を行う」「授業の記録と反省を行う」「協働を行う」「生徒と対話する」を大切にしていく。

最終的には授業で勝負し、生徒へフィードバックができる研究と実践を行い、さらに、校内研修を有効に活用・利用して授業力アップを行うとともに、「基本的資質や専門性の向上に努める教職員」「組織体の一員として自覚し、行動できる教職員」「教育公務員として自覚し、保護者・地域から信頼される教職員」を目指す。

また、「めざす学校像」の達成のために、教職員は同じ方向を向いて取り組んでいく。それには、共通理解のもとでの共通実践が大切である。

「めざす学校像」

- 地域と協働し、環境保全に取り組み、地域とともに歩む学校
- 地域の人々に学び、主体的に行動し、「生きる力」を身につける生徒の育成に取り組む学校

求める学校の姿としては、「あいさつが響く、活気に満ちた規律ある学校」「生徒理解が十分行われ、一人一人が尊重され、安全で安心して学習や生活ができる楽しい学校」「保護者や地域との連携を大切にし、社会に開かれた潤いのある環境の整った美しい学校」を目指す。

③保護者のプロジェクト

生徒の健全育成には、保護者（家庭教育）との連携が必要不可欠である。日頃から保護者とコミュニケーションをとり、連携を深めていくことを大切にしていく。

家庭へは、「あいさつの励行」「朝自習や授業と連携した家庭学習の励行」「家族団らんの時間確保」等と呼びかけていく。

④地域のプロジェクト

地域の皆様には「地域の子どもは地域で育てる」の考えをもっといただくことを啓発し、本校の大きな柱である、「地域と協働し地域とともに歩む」ことを、体験的活動を通して、主体的に地域に貢献できる生徒の育成を目指していく。

地域へは、「見守り（関心を持ってもらう）」「情報提供」「学校への来校」等と呼びかけていく。さらに、社会に開かれた学校を目指すためには、各便りの発信だけではなく、実際に学校に来ていただくことが重要であると考え、行事だけではなく、フリー参観日等を設けていく。